

令和6年度 長岡市学校教育の共通実践事項 (具体的実践内容)



人生や社会に生きる確かな学び

- ○Edu-Diver構想による授業イノベーションの推進
- ・子ども主体の時間が多い授業・課題や方法を子どもが選択・決定する授業
- ・教師が主体的に学ぶ校内研修の充実

長岡への愛着と誇りを育む学習

- ○地域教材等を活用したふるさと学習の推進
- ・「わたしたちのまち長岡」「ながおか学」「こめぷら」、地域人材、施設等の積極的な活用
- ○各学年の発達段階に応じた平和教育の充実
- ・長岡戦災資料館の見学や、長岡空襲について学ぶ機会の設定・・学んだことを発信する活動の実施

夢・志・自信を育む教育活動

- ○実体験・感動体験の充実
- ・「熱中!感動!夢づくり教育」の活用 ・「こめぷら」、地域人材を活用したキャリア教育の推進
- ・「夢タクト」等による自己の成長、変容を実感できる場面の設定

互いに認め合う温かな人間関係づくり

- ○学級経営の充実
- ・子どもの丁寧な行動観察による、言葉や気持ちの受け止めの重視
- ・子どもが、自他ともに大切にできる学級経営
- ○同和教育を中核とした人権教育の充実
- ・自他の言動を振り返り、いじめや差別をしない態度の育成

一人ひとりを大切にした支援

- ○教育的ニーズに応じた支援の充実
- ・一人ひとりの目標やねらいを明確にした支援 ・日常的な職員間の情報共有
- ・子どもとの関わりを重視した、全校体制による支援
- ○子ども一人ひとりを尊重した関係づくり
- ・子どもと教師との信頼関係の構築 ・多面的、総合的な子ども理解

安心・安全で心やすらぐ学校づくり

- ○いじめの早期発見と適切な初期対応
- ・いじめの未然防止と早期発見の取組
- ・長岡市初期対応フローを指針とした、組織的かつ丁寧ないじめの初期対応
- ○個の状況に応じた不登校に対する支援の充実
- ・本人や保護者の気持ちに寄り添った支援
- ・初期段階からの適切な相談・支援の取組の推進と関係機関との連携

保幼小中及びコミュニティ・スクールにおける連携・協働

- ○「育てたい子どもの姿」の共有と主体的な連携・協働活動
- ・子どもをまんなかにした「育てたい子どもの姿」の共有
- ・「自分たちの地域の子どもは自分たちで育てる」という意識の醸成